



新型コロナウイルスの状況と対応につきまして

早いもので、2月も10日が過ぎました。年明けから一気に広がり出した新型コロナウイルス感染症は、ついに保育施設、学校施設にも広がってきてしまいました。学級閉鎖等の対応につきましては、各校と毎日状況や対応を共有しているところですが、どの学校を見ても家庭内からの感染がどうしても多いため、数日間の閉鎖で大きく状況が変わるといのはなかなか難しいと感じています。しかしながら、感染の拡大を防ぐために、感染者または様症状についての関連を見て、前号でお知らせした基準をもとに的確に判断することに日々努めております。保護者の皆様には、お仕事等が大変な状況であるにもかかわらず、ご兄弟姉妹と一緒に登校を控えていただく等、学校の対応にご理解とご協力をいただいていることに、心から感謝しております。そのおかげで、何とか学校の活動が維持できております。この波の収まりが見えてくるまで、もうしばらくご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。



なお、感染者の急増に伴い、感染者の状況について以前のような詳細な報告をこのところ省略させていただいていることに、あらためてお詫びを申し上げます。感染児童の特定を防ぐために、メールで「児童 A は…、児童 B は…」というように、細かなご報告をしていくことが難しくなっていました。児童の最終登校日や学校での濃厚接触については、従来通りしっかり確認した上で今後について判断しておりますので、ご理解をいただければと思います。

さて、最近のコロナの状況を見ていて、気が付いたことや、新たにお願いしたいことを以下にお示しいたします。

コロナかな？と思える症状の多くは、様々言われておりますが、「急な発熱」「のどの痛み」から始まるケースが多いように感じています。報道では当初「オミクロン株」による感染は潜伏期間が短く、また発症してからも回復が早いと言われていましたが、感染者の状況を見ると、そのようなケースと、以前言われていた5日以上経ってからの発症や、熱が数日下がりず後遺症も残るといったケースもあるようで、従来型と混在しているように思います。

また、感染者増に伴い、症状があっても PCR 検査がなかなか受けられないという状況もあるようです。抗原検査ですぐに結果が出る場合や、PCR 検査の結果で3~4日待つ場合など、その日の感染者数だけでは言えない状況があり、欠席している児童のご家庭に担任が連絡をして、その後の状況を確認させていただくなど、何日か様子を見て判断しなければならぬこともあります。

一方で、世の中は「まん延防止等重点措置」が来月6日まで延長するとは言われていますが、これだけの感染者がいても今回は「緊急事態宣言」が出される気配はあまりなく、制限はあるものの教育活動も学校開放等も止まってはいません。受験の時期でもあり、受験生もこの状況下で一生懸命頑張っています。これらのことを鑑み、このような状況であっても、当面は学校現場も踏ん張っていかねば…とっております。とは言え、コロナは怖い病気に変わりはありません。十分ではありませんが、オンラインによる学習や課題提示、児童の関わり合い等も進めておりますので、登校を控える場合はそちらをご活用いただければと思います。

オンライン授業ですが、以前お伝えしているように、登校している児童と家庭にいる児童との双方を指導するのは、特に小学校では発達段階的に難しいと思っています。しかし、長く続くコロナ禍で、学びを止めないためには有効な手だてではあります。不安定ながらも、何とか学校と家庭につながる環境があるので、しばらくは不十分ながらもできる範囲で取り組んでいこうと思います。取組の中で、

- ・家で食事をしながらリモートに参加していた児童がいた。
- ・同じアカウントで複数の参加があった。

という状況があったことを情報として得ています。ご家庭にいても、リモートに参加する際は、「食事はしない」「寝そべったりしない」「テレビは消す」など、切り替えていただくようお願いします。また、配信は授業公開ではなく、児童が授業に参加するために行っていますので、お子さんの横でサポートをしていただくのはいいのですが、別の場所から児童と同じように参加することはお控えいただければと思います。お仕事先から、お子さんがちゃんとリモートには入れたかな？とご心配されている場合もあると思いますので、その場合は確認でき次第退出していただくということでご理解いただければと思います。

